

| 緊急アンケート | 2020.5.21 Report

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた公演・イベント等の自粛・中止による 沖縄文化・芸能活動への影響に関する 調査報告書

アンケート調査賛同団体 (2020年4月6日時点・順不同・32団体)

一般社団法人伝統組踊保存会 / 琉球舞踊保存会 / 沖縄伝統音楽安富祖流保存会 / 沖縄県舞台スタッフ協会 / 沖縄県芸術文化振興協会 / エーシーオー沖縄 / 沖縄伝統音楽箏曲保存会 / 那覇八重山古典民謡保存会 / 琉球歌劇保存会 / 琉球古典音楽野村流音楽協会 / 琉球古典音楽野村流保存会 / 琉球古典音楽野村流松村統絃会 / 琉球古典音楽安富祖流絃聲会 / 琉球箏曲保存会 / 琉球古典音楽安富祖流音楽研究朝一会 / 琉球古典音楽野村流伝統音楽協会 / 一般社団法人琉球フィルハーモニック / 一般社団法人楽友協会おきなわ / NPO法人琉球交響楽団 / 創作エイサー協議会 / 琉球箏曲興陽会 / 沖縄伝統太鼓協会 / 沖縄現代演劇協会 / 沖縄県舞台運営事業協同組合 / 沖縄芸能実演家の会 / 沖縄伝統組踊「子の会」 / 沖芸大琉球芸能専攻OB会 / 女流組踊研究会めばな / 演芸集団FEC / 株式会社TEAM SPOT JUMBLE / PLANNING OFFICE Coda / 沖縄LOVEweb / 音楽関係者・団体、協会等に所属しないアーティスト

調査の概要

調査主体	一般社団法人沖縄県芸能関連協議会(沖芸連) 会長 照喜名朝一 / 事務局長 下山 久
調査設計	樋口貞幸 大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員 舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM) 監事
調査分析	大澤寅雄 NPO法人アートNPOリンク理事 ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室 / 樋口貞幸
文責・レイアウト	樋口貞幸
ウェブ設計	吉川牧子 合同会社琉球ラボ

* * *

調査対象	沖縄県内に居住または沖縄県内で主に活動する芸能・舞台芸術関係者個人 <ul style="list-style-type: none">● 伝統芸能実演家(琉球伝統芸能、日本伝統芸能各種)● クラシック音楽演奏家(指揮者等含む)● ポピュラー音楽演奏家(古典、クラシック音楽以外のすべての音楽)● 演劇・ダンサー(演劇、ダンス、パフォーマンス各種)● テクニカル(舞台、音響、照明、映像、道具等)● 制作者(アートマネジャー)● その他実演家
調査実施期間	2020年3月20日(金)から4月3日(金)
調査方法	インターネット調査(ウェブアンケートフォームを活用)

* * *

回収数	517件
留意事項	設問数は13項目あるうち、回答を必須とする設問での無回答は、下記の通りである。 なお、集計分析において、無回答は全体の母数から除外して割合を算出している。 Q2. 芸能・芸術活動の主たる分野 84件 Q3. 誕生日 84件 Q4. 性別 84件 Q5. 芸能・芸術活動のキャリア 88件 Q6. 芸能・芸術活動以外の仕事(生計)の有無 93件 Q8. 延期または中止の公演・イベントの有無 100件

本調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

一般社団法人沖縄県芸能関連協議会 事務局

TEL 098-887-1321 FAX 098-887-1334

(お問い合わせフォーム) <https://www.okigeiren.net/お問い合わせ/>

*本アンケートは、みなさまご自身の芸術活動の発展に関する取り組みにご活用いただけます。
その他にご利用の際には、ご一報をお願いします。

サマリー

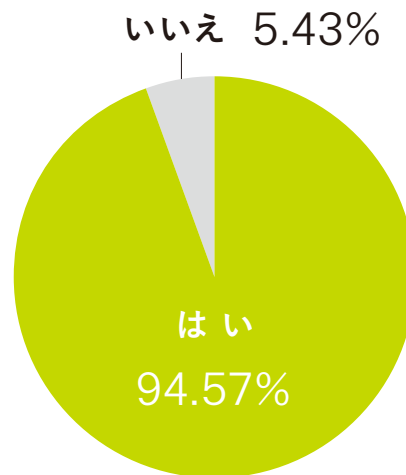
- 芸能・芸術のみの仕事をしている人は5割。芸能とは異なる仕事をしていても、そのうち非正規・パート・アルバイトが5割を占める。
- 実演家のうち専門率が高いのは、クラシック音楽演奏家の78%。兼業率が高いのは、伝統芸能実演家とポピュラー音楽演奏家。
- 3月の減収額の平均が26万円を超える。6月まで自粛が続くと5割以上が生計が立てられないと回答。
- 30～50歳代の働き盛り世代の減収額が、3ヶ月で30万円を超え、生活が成り立たなくなる恐れ。
- 実演家のうち、もっとも減収見込み額が大きいのは俳優業・男性。クラシック音楽のみ女性の減収額が男性を超える。
- 実演家のうち、1回(公演等)あたりの減収見込み額平均は約28,000円。1回あたりの減収見込み額がもっとも多かったのは、俳優・ダンサーの約76,000円(平均)。もっとも少なかったのは、伝統芸能実演家の約22,000円(平均)。
- 男女別の減収見込みの額は、平均値で女性が94,996円に対し、男性は428,698円と33万円強の差がみられた。

単純集計

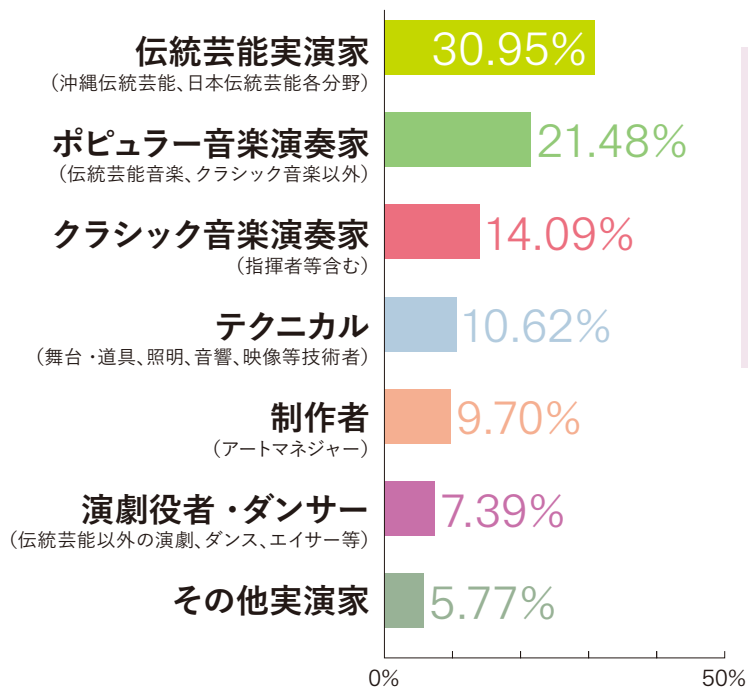
Q 沖縄県内に居住または沖縄県内を
拠点に活動していますか？ (n=516)

居住または活動の拠点

回答者の9割は沖縄県内に居住または、
県内を拠点に活動している。



Q 芸能・芸術活動の主たる分野（単一回答） (n=433)



芸能・芸術活動の主たる分野

回答者のおよそ3割が伝統芸能実演家、
2割がポピュラー音楽演奏家。クラシッ
ク音楽演奏家、テクニカル、制作者、演
劇役者・ダンサーと続く。その他実演家
には、空手・古武道等がみられた。

Q 性別 / 年齢 (n=433)

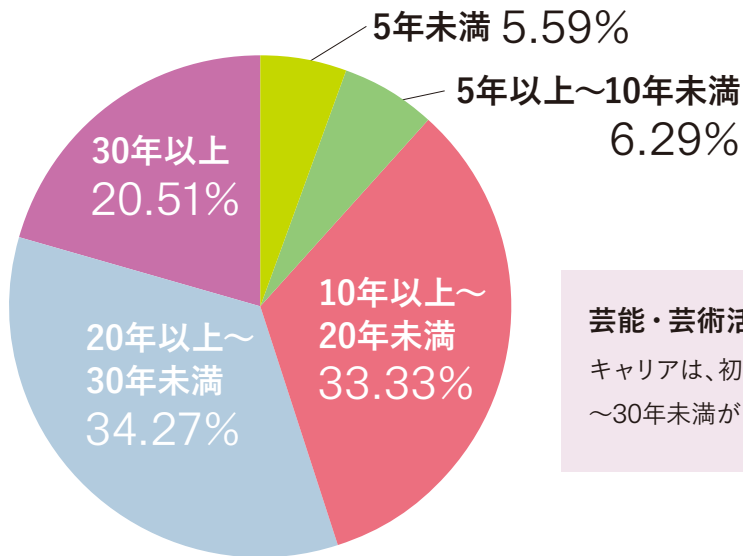


年齢 / 性別

回答者の平均年齢は、34.8歳。1975年から1980年生まれの回答者が多く、回答者の最年長は1924年(大正13年)生まれ、最年少は2004年(平成16年)生まれ。

性別は、女性と男性がほぼ同数。回答したくないが3.23%、その他の性が0.69%だった。

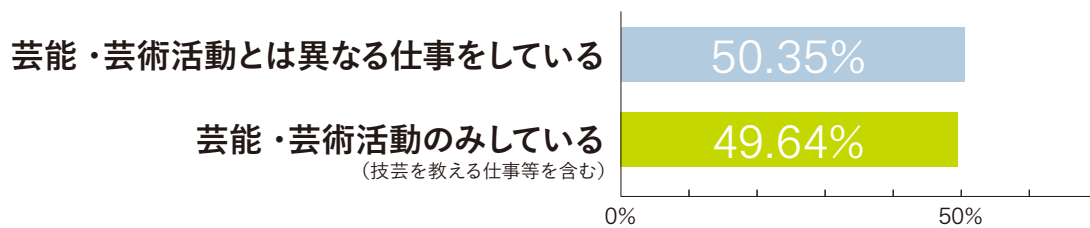
Q 芸能・芸術活動のキャリア（初舞台からの年数等） (n=429)



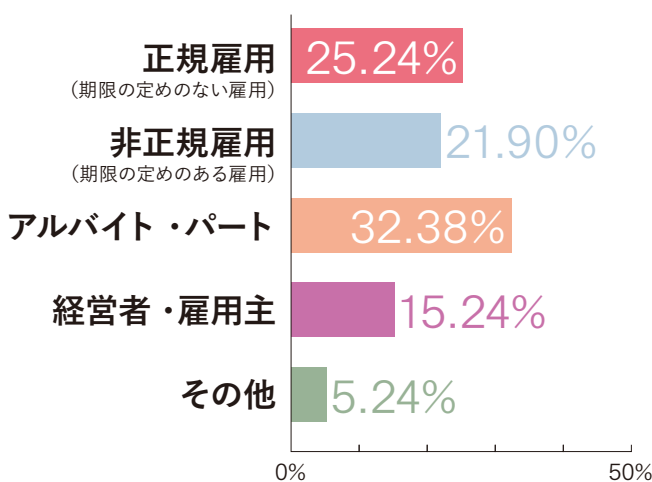
芸能・芸術活動のキャリア

キャリアは、初舞台から10年以上～20年未満、20年以上～30年未満がともに3割強。

Q 芸能・芸術活動以外の仕事（生計）の有無 (n=424)



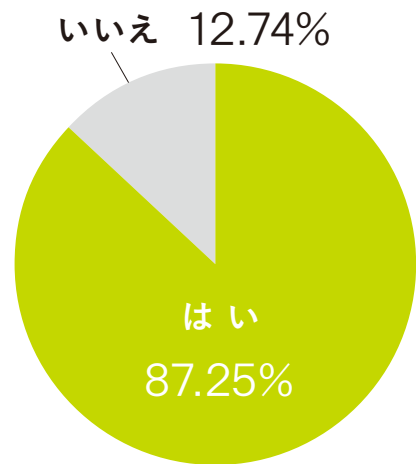
Q 芸能・芸術活動以外の仕事をしている人は、雇用形態を教えてください (n=210)



芸能・芸術活動以外の仕事（生計）の有無と、その雇用形態

芸能・芸術活動以外の仕事をしている回答者と、芸能・芸術活動のみしている回答者は、ほぼ同割合であった。
また、芸能・芸術活動以外の仕事をしている回答者(n=210)のもっとも多い雇用形態は、アルバイト・パートで、3分の1を占めた。期限の定めのある非正規雇用とアルバイト・パートで全体の5割強となった。

Q 2020年2月・3月・4月に実施の、
あなたが関わる公演・イベント等のうち、
新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に
延期または中止されたものはありますか？ (n=417)



Q 2020年2月・3月・4月に
延期または中止が決定された公演・イベント数は
何公演ですか？ (n=310)

延期または中止になった公演・イベント

	平均数	合計数	回答数
2月	1.39	316	283
3月	3.74	1,059	283
4月	3.40	910	268

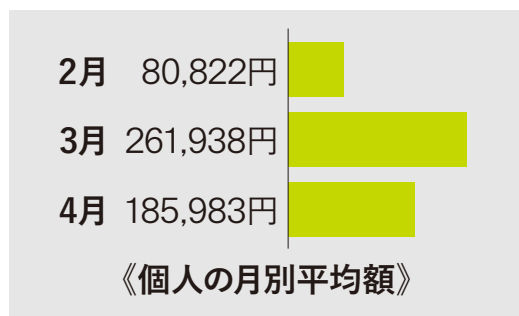
延期または中止になった公演・イベント

新型コロナウイルスを理由とした延期または中止となった公演やイベントは9割に及ぶ。延期または中止が決定された公演・イベント数は、2月平均が1件、3月平均4件、4月平均が3件。

Q 2020年2月・3月・4月に延期または中止によって、あなたご自身が受け取れない謝金や出演料、テクニカル費の総額はいくらですか？ (n=273)

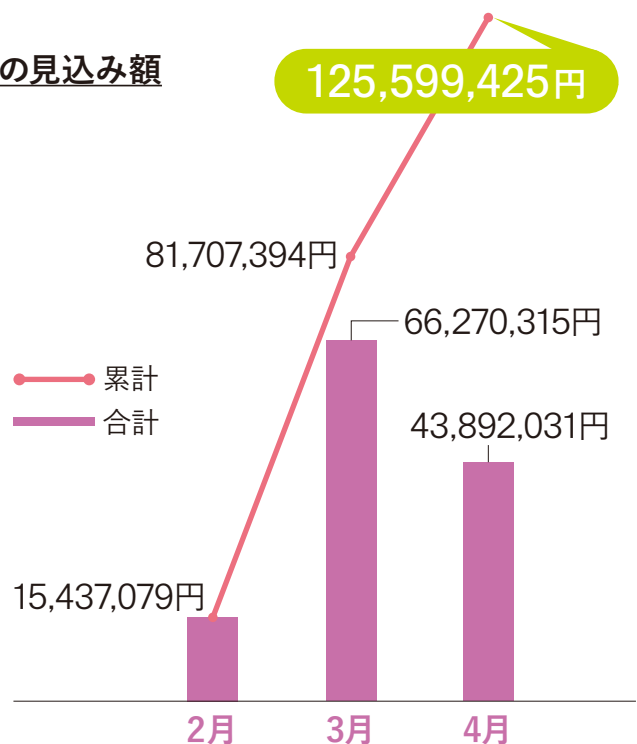
*源泉徴収等を含んだ見込み額

延期または中止による2月から4月の減収の見込み額



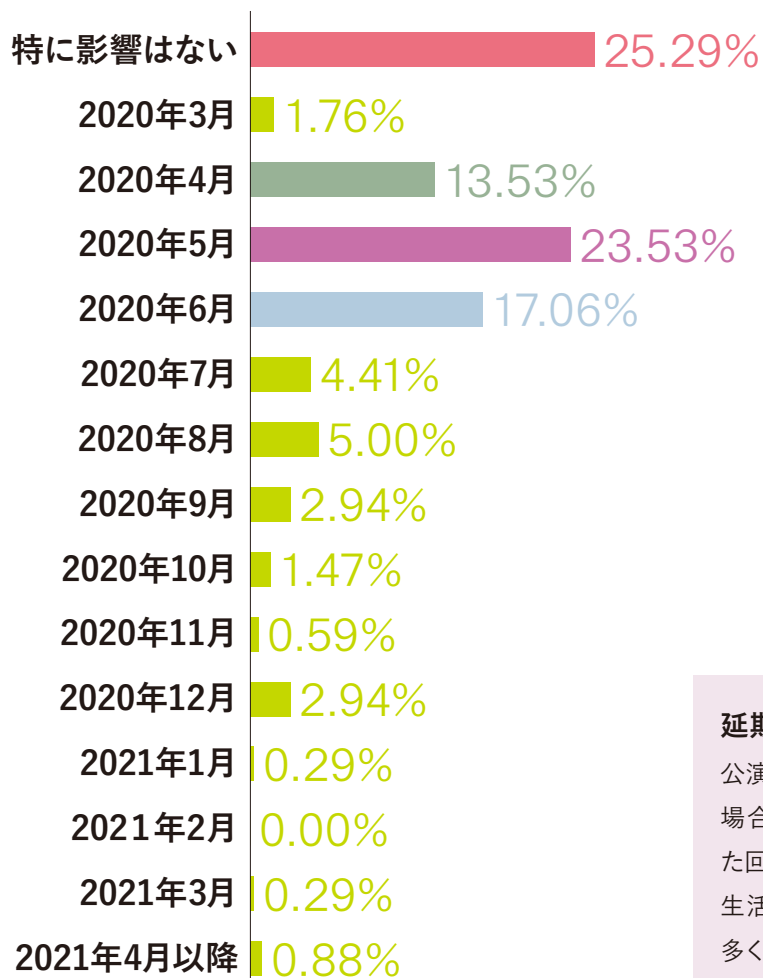
延期または中止による減収額

延期または中止による減収額(見込み月額)は、2月は平均8.1万円、3月は平均26.2万円、4月は平均18.6万円。回答のあった3ヶ月の減収額の総計は、**1億2,560万円**にのぼる。



Q 公演・イベントが延期または中止が何月まで続くと、生活が維持できなくなりますか？

(n=340)



延期または中止による生活の維持

公演・イベント等が延期または中止が続いた場合でも、生活に「特に影響はない」と答えた回答者は4分の1。

生活が維持できなくなるのは5月がもっとも多く、ついで6月、4月の順となった。

単純集計についての補足

本アンケートは、緊急性を有したことから、インターネットによる調査とした。インターネット調査は不慣れであることが予想されたため、回答数の確保が課題となった。少しでも回答を促す必要があることから、回答を必須にしなかった。その結果、設問毎に回答数にばらつきが出た。有効回答数は517人だが、設問により回答数が異なるため注意が必要である。

回答者の内訳は、実演家（伝統芸能実演家、ポピュラー音楽演奏家、クラシック音楽家、演劇役者・ダンサー、その他実演家）が79.68%、裏方（テクニカル、制作者）が20.321%である。

インターネットによるアンケートへの回答を年代別にみると、40代がもっとも多く、30代、20代と続くが、50代以上では、回答数が大きく減少した。

このことから、「Q.2020年2月・3月・4月に延期または中止によって、あなたご自身が受け取れない謝金や出演料、テクニカル費の総額はいくらですか？」という設問は、50代以上の高キャリア層の減収額を把握できていない上、回答数が273件に限られた。それでもなお、1億2560万円もの損失が出ていることから、個人が活動を通じて受け取れなかった損失額は、極めて甚大であることが推察される。

クロス集計

本アンケートでは、単純集計に加え、クロス集計を行った。クロス集計とは、設問を掛け合わせて集計する方法のことである。

Cross-tabulation 1 | 分野・業種別にみた回答者の年代構成

分野・業種別に回答者の年代構成を分類したところ、40歳代がもっとも多く回答した。演劇役者、ダンサーは、30歳代が多く、40歳代とほぼ同数であった。60歳以上は、いずれも10%未満の回答率となった。

分野	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計(%)
伝統芸能実演家	24.6%	29.1%	32.1%	9.0%	5.2%	100.0%
ポピュラー音楽演奏家	3.2%	22.6%	47.3%	21.5%	5.4%	100.0%
クラシック音楽演奏家	21.7%	20.0%	43.3%	13.3%	1.7%	100.0%
演劇役者・ダンサー	6.3%	34.4%	31.3%	21.9%	6.3%	100.0%
その他実演家等	8.0%	16.0%	52.0%	16.0%	8.0%	100.0%
テクニカル	0.0%	23.8%	40.5%	31.0%	4.8%	100.0%
制作者	7.5%	22.5%	52.5%	15.0%	2.5%	100.0%
総計	13.1%	24.9%	40.9%	16.4%	4.7%	100.0%

Cross-tabulation 2 | 分野・業種別にみた回答者の性別

分野及び業種別に性別を分類したところ、制作者以外で顕著な偏りがみられた。なかでも、クラシック音楽は女性の回答率が高く、顕著な傾向を示した。ポピュラー音楽演奏家、その他実演家は、男性の回答率が高く、50ポイント程度の開きがみられた。

分野	女性	男性	その他・回答したくない	合計(%)
伝統芸能実演家	61.9%	34.3%	3.7%	100.0%
ポピュラー音楽演奏家	25.8%	73.1%	1.1%	100.0%
クラシック音楽演奏家	83.6%	13.1%	3.3%	100.0%
演劇役者・ダンサー	59.4%	28.1%	12.5%	100.0%
その他実演家等	36.0%	64.0%	0.0%	100.0%
テクニカル	20.5%	75.0%	4.5%	100.0%
制作者	42.9%	50.0%	7.1%	100.0%
総計	49.4%	46.6%	3.9%	100.0%

Cross-tabulation 3 | 分野・業種別にみた専業と兼業の傾向

分野・業種別に「芸能・芸術活動のみをしている（技芸を教える仕事等を含む）」（専業）と「芸能・芸術とは異なる仕事（生計）をしている」（兼業）を分類したところ、クラシック音楽家とテクニカルは、8割弱が「芸能・芸術のみの活動をしている」と回答した。伝統芸能実演家とポピュラー音楽演奏家、その他実演家等で異なる仕事をしている割合が高い傾向を示した。

分野	専業	兼業	合計(%)
伝統芸能実演家	30.5%	69.5%	100.0%
ポピュラー音楽演奏家	40.2%	59.8%	100.0%
クラシック音楽演奏家	78.3%	21.7%	100.0%
演劇役者・ダンサー	58.1%	41.9%	100.0%
その他実演家等	45.8%	54.2%	100.0%
テクニカル	75.0%	25.0%	100.0%
制作者	58.5%	41.5%	100.0%
総計	49.6%	50.4%	100.0%

Cross-tabulation 4 | 分野・業種別にみた新型コロナウイルスを理由とした公演・イベント等の延期または中止

設問「2月・3月・4月に実施の、あなたが関わる公演・イベント等のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に延期または中止されたものはありますか？」への回答を分野別に分類した。どの分野・業種も大多数が公演・イベント等の延期または中止を経験しており、テクニカルが93.2%、クラシック音楽演奏家が91.7%、その他実演家が87.5%と続く。

分野	はい	いいえ	合計(%)
伝統芸能実演家	85.4%	14.6%	100.0%
ポピュラー音楽演奏家	84.1%	15.9%	100.0%
クラシック音楽演奏家	91.7%	8.3%	100.0%
演劇役者・ダンサー	86.7%	13.3%	100.0%
その他実演家等	87.5%	12.5%	100.0%
テクニカル	93.2%	6.8%	100.0%
制作者	87.5%	12.5%	100.0%
総計	87.3%	12.7%	100.0%

Cross-tabulation 5 | 分野・業種別による延期または中止件数の分析

2月から4月までに延期または中止になった公演・イベントの件数を分野・業種別にみると、回答の合計件数が最も多いのはポピュラー音楽演奏家で480件、次いで伝統芸能実演家が460件、テクニカルが426件となっている。回答した一人当たりの平均件数ではテクニカルが最も多く9.26件で、次いで制作者が8.74件、その他実演家等が6.68件であった。

合計の多い順	回答数	平均件数	合計(件)
伝統芸能実演家	134	3.43	460
ポピュラー音楽演奏家	93	5.16	480
クラシック音楽演奏家	61	4.70	287
演劇役者・ダンサー	32	3.06	98
その他実演家等	25	6.68	167
テクニカル	46	9.26	426
制作者	42	8.74	367
総計	433	5.28	2,285

※ただし、無回答は0件として集計に含めている。

Cross-tabulation 6 | 分野・業種別による減収見込み額の分析

公演・イベント等の延期または中止により受け取れない謝金や出演料、テクニカル費の3ヶ月間の総額で合計額が最も多いのは、テクニカル(5,902万円)で、次いでポピュラー音楽演奏家(2,430万円)、制作者が(1,727万円)であった。回答した一人当たりの平均額でもテクニカルがもっとも多く128万円、次いで制作者の41万円、ポピュラー音楽演奏家の26.1万円。テクニカルは、報酬や給料として切り分けが難しい経費等が含まれている可能性がある。他方、10万円を下回ったのは、クラシック音楽家(99,542円)と伝統芸能実演家(77,135円)。

合計の多い順	平均減収額(円)	合計(円)
伝統芸能実演家	77,135	10,336,057
ポピュラー音楽演奏家	261,289	24,299,833
クラシック音楽演奏家	99,542	6,072,090
演劇役者・ダンサー	153,032	4,897,025
その他実演家等	148,402	3,710,060
テクニカル	1,282,937	59,015,100
制作者	411,173	17,269,260
総計	290,068	125,599,425

Cross-tabulation 7 | 年代別による減収見込み額の分析

3か月間の減収額の平均を年代別にみると、50歳代が35万円、30歳代が33万円、40歳代が32万円。30歳代から50歳代までの世代は30万円を越えており、29歳以下、60歳以上との金額の差が大きい。

年齢の高い順	回答数	平均減収額(円)
60歳以上	21	94,286
50歳代	70	352,173
40歳代	174	319,984
30歳代	107	329,188
29歳以下	56	56,911
総計	428	282,055

Cross-tabulation 8 | 専業・兼業別による減収見込み額の分析

3か月間での減収額の平均を「芸能・芸術活動のみをしている(技芸を教える仕事等を含む)」(専業)と「芸能・芸術とは異なる仕事(生計)をしている」(兼業)の区別で見ると、専業者は43万円、兼業者は17万円となり、金額の差が大きい。

	回答数	平均減収額(円)
専業:芸能・芸術活動のみしている	210	429,062
兼業:芸能・芸術活動とは異なる仕事をしている	214	165,871
総計	424	296,225

Cross-tabulation 9 | 分野・業種別にみた1回(公演等)あたりの減収見込み額(平均)

1回(公演等)あたりの減収見込み額(平均)を、分野・業種別にみたところ、もっとも高いのはテクニカルで197,430円、次いで制作者の94,829円であった。実演家で見ると、もっとも高いのが演劇役者・ダンサーで75,879円で、もっとも低いのは伝統芸能実演家の21,755円であった。

分野	1回あたりの平均減収額(円)
伝統芸能実演家	21,755
ポピュラー音楽演奏家	22,520
クラシック音楽演奏家	24,753
演劇役者・ダンサー	75,879
その他実演家等	27,415
テクニカル	197,430
制作者	94,829
総計(平均/円)	53,328

※ただし、次の回答については、本集計から省いた。
 ・延期または中止の回答が0件で、減収見込み額が0円または無回答の者。
 ・実演家についてはコメント等から施設経営等報酬以外の収入を含む高額所得者(1000万円超)を省いた。

Cross-tabulation 10 | 分野・業種別および専業と兼業による減収見込み額の差(平均)

「芸能・芸術活動のみをしている(技芸を教える仕事等を含む)」(専業)と「芸能・芸術とは異なる仕事(生計)をしている」(兼業)で、減収見込み額をそれぞれ分野・業種別に集計した。

専業者・兼業者ともに減収見込み額が高かったのはテクニカル。減収見込み額が低かったのは、専業者ではクラシック音楽演奏家が、兼業者では伝統芸能実演家であった。

分野	専業(円)	兼業(円)
伝統芸能実演家	162,926	41,967
ポピュラー音楽演奏家	163,852	58,098
クラシック音楽演奏家	110,150	68,850
演劇役者・ダンサー	195,278	106,310
その他実演家等	281,369	47,308
テクニカル	1,601,667	560,009
制作者	536,719	258,118
総計(平均/円)	429,062	96,210

※ただし、クロス分析上、実演家については、コメント等から施設経営等報酬以外の収入を含む高額所得者(1000万円超)を省いた。

Cross-tabulation 11 | 分野・業種別にみた男女別による減収見込み額の差(平均)

減収見込み額(平均)を、分野・業種別および男女別でみたところ、いずれの分野でも不均衡が見られた。

男性(平均)が428,698円であるのに対し、女性(平均)が94,996円に止まった。

実演家のみで男女別の減収見込み額をみると、演劇役者・ダンサーの男性が最も高く、平均が383,889円となった。なお、女性の減収見込み額が男性より高い傾向を示したのは、クラシック音楽演奏家のみであった。

分野	女性の減収額(円)	男性の減収額(円)
伝統芸能実演家	60,831	110,979
ポピュラー音楽演奏家	45,657	119,849
クラシック音楽演奏家	110,628	53,756
演劇役者・ダンサー	33,791	383,889
その他実演家等	72,778	190,941
テクニカル	188,889	1,729,548
制作者	300,056	423,727
総計(平均/円)	94,996	428,698

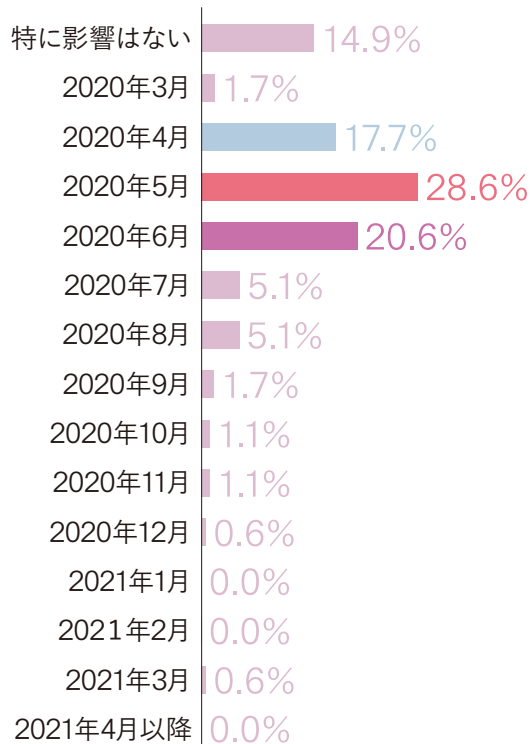
※ただし、クロス分析上、実演家については、コメント等から施設経営等報酬以外の収入を含む高額所得者(1000万円超)を省いた。

Cross-tabulation 12 | 専業と兼業による生活の維持に及ぼす影響

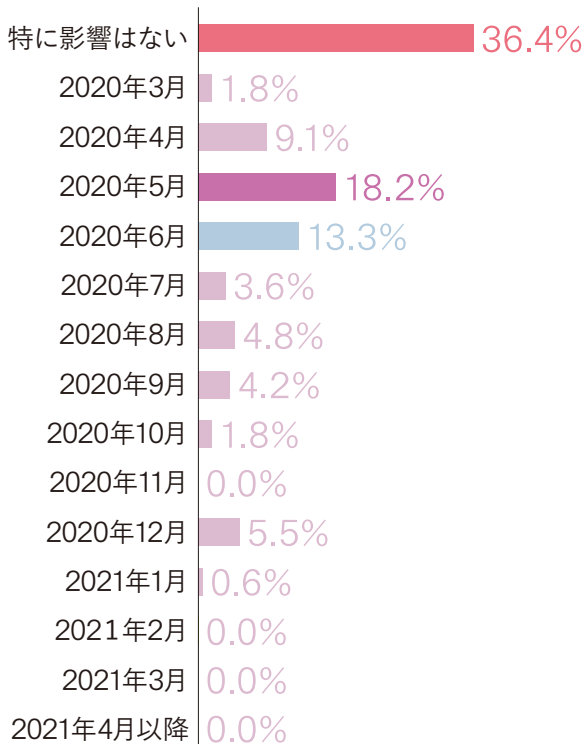
公演・イベントの延期または中止が何月まで続くと生活が維持できなくなるかを問うた設問のうち、「芸能・芸術活動のみをしている（技芸を教える仕事等を含む）」（専業）と「芸能・芸術とは異なる仕事（生計）をしている」（兼業）それぞれの実演家における傾向を分析した。

専業者は4～6月で66.9%と山場を迎えるが、14.9%が特に影響はないと回答。他方、兼業者は、特に影響はないが36.4%でもっとも多い。次いで5月が18.2%、6月が13.3%であった。

芸能・芸術活動のみをしている



芸能・芸術とは異なる仕事をしている



クロス集計についての補足

兼業者の4割弱は、新型コロナウイルス感染症による公演・イベントの中止または延期が生活に及ぼす影響は特にないと回答しているが、専業者は6月まで続くと7割近くが生活に影響が出ると回答した。減収見込みの額を専業者と兼業者で集計したところ、専業者が平均429,062円、兼業者が96,210円と30万円以上の差があり、専業者の生活に及ぼす影響の大きさがみてとれる。なかでも、テクニカルと制作者はその額の規模から事業にかかる経費も減収見込み額に含むと推察され、受ける影響は極めて大きい。実演家でみると、伝統芸能実演家とポピュラー音楽演奏家は、過半数が兼業者で、そのうち、生活の維持に及ぼす影響についての設問に、それぞれ46.7%（伝統芸能実演家）、43.6%（ポピュラー音楽演奏家）が「特に影響はない」と回答している。また、1回（公演）あたりの減収見込み額は、俳優（演劇役者・ダンサー）が75,870円であったのに対し、クラシック音楽演奏家は24,753円、ポピュラー音楽演奏家が22,520円、伝統芸能実演家が21,755円に留まった。

男女別の減収見込みの額は、平均値で女性が94,996円（回答率55.3%）あるのに対し、男性は428,698円（同40.9%）と33万円強もの差が生じた。回答者のうち、伝統芸能実演家および演劇役者・ダンサーの6割は女性で、クラシック音楽演奏家は女性が8割、ポピュラー音楽演奏家は男性が7割であった。

自由回答

Q 公演・イベントが延期または中止になることで、芸能・芸術活動や生活にどのような影響がありますか。道場やスタジオ、カルチャーセンター等での教える活動についても影響があれば、併せてお聞かせください。

(n=195)

「収入が一気に減り、生活ができなくなる」、「これからの生活に大きな不安となっている」といった生活への影響や不安と、「今後予定している舞台の稽古ができない」、「中止になり、これまでの支出が回収できない」、「今後の活動自体を続けられるのかも不透明」、「モチベーションや技術の低下」といった活動の不透明さに関する意見がみられ、いずれも切実さが滲み出る。

(一部抜粋)

開催の準備で既にかかった費用が、中止により自費負担となっている。先が見えず、延期日程や今後の活動の目処も立たないので、これから益々収入が減る。／収入源がない。作品の発表もできない。／特にない／生活に張り合いが無い。ライブでしか得られない歓喜というものが無い。／まず収入が一気に減り、生活ができなくなる。そして、経済も回らなくなると演奏機会も需要も冷え込むのでどうにか新しい手を生み出さなければ生きていけない瀬戸際の状態。／パート勤務の収入だけでは生活が困難である。／生活が出来ない／チケットを売ることもできず、サポートミュージシャンへの支払いのみが自腹で発生した。／収入がなくなりますので、貯金を切り崩して生活しています。／生活が苦しいです。／演奏が出来る場所がないと後は破産・生死に関わってしまうのが今の現状です。／これからオンラインで積極的にやっというかなと思います。／生徒がレッスンに来れない事で、収入が減り家賃や支払いが大変になる。／状況はとても深刻です。アーティストはまず食べていけない。家賃も光熱費も税金も払えない。県が支えてくれないと沖縄の音楽文化は将来性が無いと認知され、今後の育成は絶望的。将来的に沖縄の音楽文化は終わります。／自分自身の発表や出会いの場のみならず、単純にお客の立場としても芸術に触れられない不健全さを感じています。／補填する費用を他でまかないといけなくなり、滞納、借金に繋がり生活が困窮に繋がるおそれがある。／ライブハウスでのライブ活動が軒並み中止延期となっしまい、再開のメドは立っていないのが現状です。／音楽活動のモチベーションの低下／今後の活動自体を続けられるのかも不透明。正規雇用の無い分野の仕事なので、各種保障が無いので家族を養えなくなる。／バンドの技術が落ち、今後の活動に影響がでます。／公演でもスクールでも自粛が続くと、収入も入らないので、生活が成り立たなくなると感じる。融資を受けたとしても、返すお金に変わりはなく。以前より、売上が伸びないと生活も難しいでしょう。／生活は収入が全くなくなるので家にいる事が多くなる。／店舗閉店／イベント中止で収益が無くなる上に会場のキャンセル料も支払わなくては行けないのでダブルパンチです。／エンタメを生業とする人が居なくなる。／スタジオ、飲食店、ライブハウスなどの箱が維持できない、主催団体、オーガナイザー、芸能事務所が維持できない。芸能に関連する仕事、その仕事に携わる人たちが確実に他分野に流出する。／ウチみたいな体験させるユニットにライブ中止は厳しいです。／経済的な影響はないが、活動を維持していくためのモチベーションが下がる可能性は大にあると考えている。／生活としては非常に厳しいです。／ライブハウス等、発表の場が無くなり活動が出来なくなる。／4月に、公民館でのカルチャー開催と依頼がありましたが、連絡が来ていない。／自転車操業での仕事なので廃業も視野に入れ行動せねば行けないかと思っています。／撮影関係が、ほとんどキャンセル、ライブイベントキャンセル、抑えていたライブハウスなどをキャンセルしたため、キャンセル料の支払いなど、収入はないのに、キャンセル料支払いや給料家賃などの支払いが大変である。／やはり、収入が大幅に減ることでの影響は深刻です。非常に恐怖です。／教室や制作の仕事があるのでマシな方だと思います。ただいずれは連鎖的に影響が出てくるんだろうな、と考えています。／金銭的な部分が大きいです、県内外への活動一つ一つが次に繋がっていくので、それが今全て出来ない状況は精神的負荷も大きいです。私ごとですが子供もいるので、養育費しても打撃を受けます。／ライブハウス等が閉店に追い込まれてしまうことで活動の場が縮小してしまうの

が直近の心配です。またそれらの経営に携わる友人も多数おりますので、彼らの生活への影響を心配しています。／本番がなくなると練習がなくなり、収入に関わってくる。／生活ができない。(家賃。光熱費。通信費。食費…)何もかも支払いができない。／個人的には生活ができなくなる。芸能活動は人を幸せにします。守りたいです。／定期的に演奏している場所では、どうしてもマスクを着用しての演奏が出来ず、不安。／出演よりも教える仕事メインなので、公演の中止・延期は収入に直接大きな影響はありませんでしたが、新年度にに合わせて生徒募集のチラシを折り込み予定だった公演がほとんど延期になってのが痛かったです。／ライブを演ること、告知することに世間の目が厳しい。中止をすれば賢明な判断と称賛されることに違和感を感じる。命を脅かすのはウィルスだけではなく、収入も死活問題です。／演奏者はギャラが減るとともに、物販のプロモーションの場を失うことで機会損失となる。演奏や出演により次回以降のイベントへのブッキングに繋がることがあるため、今後のイベント出演の機会も失ってしまう。／個人、企業の経費削減による集客離れ／生活が出来ないと、先のスケジュールが立てられないので、プロジェクトが進められない。／今は音楽の発信を続けていく為に、インターネットでの配信を駆使して届けられるよう、模索中。／アーティストの経済的困窮、モチベーションの低下、市民の情操の低下／そもそも事業内容を維持するか方向転換するべきか時期を決めて舵取りをしていかないと生活が成り立たなくなると思います。／一番に、収入がなくなる。講演をする場所も運営維持できなくなれば、文化活動自体が縮小する。／アンケートは直近のものしか無いが、6月、7月のイベントや講演がキャンセル、一時業務停止状態で先行きが見えない。／収入がなくなり、活動する場所の賃料など経費が支払いできず継続できない／芸術活動そのものができなくなる。経済的にも問題も大きい、大衆の芸術に関する理解を得にくくなる。／稽古場の維持が出来ない、生活の収入費減／家賃が払えない／芸能プロダクションなので、死活問題でありこの状態が続けば夏まで会社は持ちません。／会社の存続自体が、かなり危険に陥る。／稽古に使っている道場の閉館により運営している教室を休まざるをえず、収入がなくなる。／演奏会が集中することでお客様の取り合いになる。練習する時間や場所の確保が困難である。／家賃、ガソリン、食費全てにおいて影響あり。／リゾートウエディング挙式演奏の仕事をしてますが、ほとんどが本土や外国からのインバウンドのお客さんが多く、3月4月は繁忙期にもかかわらずキャンセルが相次ぎ仕事件数が半分以下になっている。／収入が減り、次の活動資金の用意ができなくなる。／演奏する場所。観客。全てが繋がっているのもとても困っています。／公演・イベントの延期や中止は、これまで入っていた収入が減り、生活基盤の安定がなくなる。安定がなくなる事で、他の仕事を探す必要があり、芸能や芸術活動の継続が困難になる。このような環境になると芸の質低下など、負のスパイラルに陥る恐れがある。／カルチャーセンターにおいては、受講生のほとんどが退職した60代以上の高齢者だ。現状では長期の欠席者が出ており、また年度が変わる事も重なり来期講座の申込者も減っている。今後も感染者が増え続けていくと、カルチャーセンター全体の閉鎖も大いにあり得る。／今は県内だけではなく日本全体が観光業や飲食業はじめ様々な分野において軒並みダメージを受けてる。その様な中でバイトを探すのも難しい状況で、難しい問題に直面していると痛切に感じている。／無収入になる。社会的に活動を再開してもいいのかという不安が、自分たちの活動自体の価値への疑問、不信へつながるといふある種恐怖を感じる。／公演やイベントをすることで新しい生徒の獲得があったり、また生徒のモチベーションをかねて大きな発表会の予定をしてましたが、それも延期となりました。／・所得の減少・実施予定で印刷した公演告知チラシ等の費用実費が回収できない・演奏の公演でサポートメンバーに日程をおさえてもらったがキャンセルになり最低保証も支払えない／個人レッスンを自粛しているため、生徒さんや私自身にとっても、影響があります。／現状は幸い該当期間に大きな案件がなかったため影響は少ないですが、収束時期が見通せないため先の計画が立てられず、今後の活動計画が立てられず困っています。／タレントのマネジメントをしている会社なので、新しいタレントの打ち出しや育成ができない、そもそもタレントの仕事がなくなりモチベーションが生活費の心配が一番です。／年金、税金、家賃の支払いが難しくなる／生きがいが無くなります。／収益の減収により日常的な出費ができなくなる(家賃や光熱費、食費も含む)収入がなくなり将来に不安を覚える／高齢者施設での演奏活動ができません。お年寄りへの精神面や日常活動への音楽的なアプローチ、ケアができません。／演者自身の意欲の低下、舞台上に立てないことのフラストレーションの増加、また心の拠り所になっている、楽しみにしている舞台が観劇できないという虚無感。／収入が入らなくなるので、家計が回らず家族を養う事もこの家に住むこともできなくなる。／サークルで教えていましたが、今は止まっています。お稽古場の弟子もだんだん来なくなるのではないかと不安／幸か不幸か芸能関係以外の仕事の本職になってはいるので生活に影響はない。ただ、稽古はやっぱりやらないといけないわけで、マスクしながら参加はしてるが、マスクが手に入らない先輩達も多い。年齢が高い方が多いので気にかけてるつもりではいるが、稽古ひとつとっても心配になります。／人の目に触れて頂ける機会が減る為、今後の仕事以来が減る。今現在の仕事なくなるのも困るが、未来の仕

事が減るのはなお困る。／ 子供たちへの指導を主としており、そちらの対応は休校中は稽古も休み。／ 転職や副業を考えている / 主催者は延期や中止に伴いかなりの負債を抱え込むことになり、かなりの借金を背負う。出演料などのアンケートも良いが、中止による主催者側が被る損害も調査して頂きたい。／ 半分以上の収入が減る。生徒の意識も低下する。／ 学校休校による収入減が大きい。／ 依頼を受けての公演・イベントに関しましては、ほとんどの主催者様からキャンセル料、キャンセル料をいただけておりません。この機会に"天災等による延期・中止に関して、責任を負わない"との注意書きも増えてきました。また、県外からの演奏依頼に関しては、リハーサルのために何度も往復を重ねても、渡航費を出していただけなかったりと、赤字は増すばかりです。個人で経営する教室等に関しては、現在は稼働していますが、状況によっては休止も考えています。(皆さま自分で判断されていますが、こちらも何を参考にして良いか悩みどころです。) / チケット精算、音響や施設、他色々な形で、計算が困難かと思われま。 (; ;) 観客側もですが、出演や主催者側は、ほんとに大変です。 / 生活費及び活動費がゼロになる / 延期になることで次の本番との兼ね合いが悪くなる。また、音楽教室も入会者が減ったり全体のムードが悪い。 / 精神的経済的に苦痛 次の公演に向けてモチベーションの維持ができない / 公演イベントが予定されていれば、中止や延期がない限り、個人的な判断で練習も、舞台も休めない。感染してしまうと、他に関わっている仕事等(医療、福祉)にも大きな影響を与える場合もあり、自身の行動や活動に責任が出てくる。その為、自粛になった場合には、練習や公演への参加についても、しっかりと配慮、対策をして欲しい。 / 先が見えないので、生活を維持する為には、別の職業を探さないといけなくなるのではと、考えてます。 / 生活困窮が予想されます。 / 自身の仕事は舞台照明の仕事なので、主催者が中止となればそれに従うのみ。そこで収入はゼロになります。このまま続けば仕事を辞めざるを得ない状況になります。 / 予定していた仕事が減って今後従業員に給料もはなえなくなる不安がある / 収入が減るので食費を減らす。質を落としたり回数を減らしたり。 / 公演が一つキャンセルになることで、本番に向けて組まれていたリハーサルもキャンセルになり、ドミノだおしで予定がなし崩しになってます。個人レッスンについては、これまでの信頼関係からお互いの体調など考慮した上で継続できていますが、カルチャーセンターやピアノ教室などは、経営者や施設の方針(リスク管理)によるところが大きいです。 / 舞台演奏・教室やカルチャーでの指導が収入源で3名家族、そして博士課程という学業をしながら活動しているため、凄く苦しい状況。4月から生活はもちろん、学費を払えない可能性が出てきている / 主催公演の企画に支障が出ている。 / 劇場管理、運営の危機 / 舞台発表の場に向けて、稽古を進めてきても、それが無しくなると、モチベーションを維持するのが辛い。 / 今後の活動の見通しが立たない。計画が立てられない。 / 公演から得られる予定であった収入の減少。音楽教室の生徒が自主休講するため、お月謝からの給与も減る。 / イベントの出演料が無くなるだけでなく、そのために準備したこれまでの時間の代償、また練習場代のため赤字続きます。また音楽教室も閉鎖している所が多く、収入源が断たれています。 / 収入の大半が教えることで得られているので、スタジオやカルチャーセンターが閉鎖してしまうと単純に収入が減る。 / 職場全体の運営や維持が困難になり、仕事なくなる。 / 舞台に向けて沢山の稽古をさしてきましたが、それを見ていただかない虚しさ 又、それに向けてかかった金銭面も大変な損失です。 / イベント自粛の風潮やコロナ感染の実状などを考えると、活動することも憚れる。また、定期的開催されている様なイベントは休止しており、再開の目処もたえずに家計的にも厳しい。 / 交通費の手配や、場所に対してのキャンセルなどで精神的な苦悩があります / 単純に収入が絶たれるので生活ができなくなる。また、音楽教室でも、新規で習いに来る方向けの体験レッスンに対する足が遠くため、収入を増やせる機会を失っている。仕事が軒並み無くなっていくのでモチベーションを保つのがこれ以上は厳しい。 / 中止になってもこれまで支出した費用は返ってこない。 / 芸術活動での収入が減るため、日々の生活を節制しなければならず、消費にお金が回しづらくなる。 / 伝統は継承しなければならない意思で現在伝承継承に努めている。活動はほぼゼロ、道場やカルチャーは自粛に伴って、収入は半減以下になりました。社会が止まっても、道路が止まっても、伝統芸能は止めてはならない!の気持ちで日々闘っております。 / 半年以上から1年以上になると、全国民が出費を抑えるので、趣味から削るはずなので、心配です / 今後予定している舞台の稽古ができない。収入が減少。 / 生活が立ち行かなくなり、レッスン場の家賃、駐車場、奨学金返済、その他経費支払いが難しくなってくる。今更、音楽以外の何の資格もないので転職も考えるが、厳しいと思います。 / 収入が無くなり生活が困難になる。 / 県外からのお客様の来場を見込んでいたが、中止となってしまった。県外へアピールする機会が無くなってしまった。 / 道場閉鎖になれば生活収入源が得られ無いので困ります。 / 収入が減少する。技能維持、機材の維持が難しくなる。 / 全ての収入が途絶えるので 既に死活問題です。 / 文化に触れる時間が減りまた文化の事について知る事が減る / 売り上げが落ちて従業員の給与が払えなくなる / カルチャーセンター等での指導は屋内でのグループレッスンになります。したがって、基本的には全て中止となり、収入は大幅に減少します。 / 芸能活動に付随する関係機関への影響(印

刷関係、衣装、小道具、スタッフ、化粧結髪用品など）・門下生の道場離れ / 公演を予定して進めていても実施できなければ、印刷物や会場費などの回収が不可能になり、不要な負債を負うことになる。大変深刻である。 / レッスンに関しては、オンライン(zoom)も併用準備中です。 / 三線教室を主宰していますが、学校の休校に伴い教室もお休みにしました。 / 沖縄芸能だけで生計を立てており、この状態では生活が厳しくやむを得なくアルバイトを始めましたが、とても厳しい状況は変わりません。収入が激減して切羽詰まった思いです。母子家庭の為、子供を育てていくのも大変な事態になってます。 / 演奏会に向けた長期の企画進行作業が無駄になる、作曲作品が完成しても披露の場が無い / 公演が延期、又は中止になるだけでなく練習場やレッスン会場としていたホールや公共施設が閉館になっているので全ての活動が遂行出来ない。 / スタジオ、公共施設、など使用できないと練習する場所が無く活動場所が困る。 / 本場に向けて稽古をしていたので、それに出費した交通費、稽古時間など、本番がなければ反映されないのが、厳しいです。 / スクールはオンライン切り替えていますので、問題ありません。それどころか、オンラインにしたことで県外のスクール生が増えて収入アップに繋がっています。 / 舞台出演が減り、収入源が減ることが1番の問題。 / 集客が出来ず、売上が無くなる。演奏活動によるプロモーションが出来ない。レッスン業は、教室のウイルス対策を万全にした上、現在のところ行えているので影響さほど無し。 / ただでさえ、不安定な職業なのに、先が見通せず不安が募ります。 / 収入源による生活の困窮が避けられなくなり、廃業・転職を余儀なくされる。 / 生活費に関しては教える活動が継続出来ていれば維持出来るかと思いますが、生徒の発表の場がなくなる事によるモチベーションの維持が難しく生徒数の維持が難しくなる可能性もある。 / 稼ぎがなくなり生活に影響がでたり、月謝が払えない。 / 活動団体の収入減、また芸能の魅力発信ができなくなる。それにより、今後の芸能若手・児童人材確保が懸念される。 / 生活できないアーティストが増え、芸術活動の人口と発展の低迷に拍車がかかってしまう。 / カルチャースクールがお休みになり、その分の収入が減った。 / スポーツセンターでのレッスンは全て休講となり、日当最低保障額の半分の給料になりました。人数歩合などを差し引いた金額ですので、普段の半分もありません。スポーツセンターが負担してくれてますが、いつまでなのか不透明なため不安です。 / 収入が取れないだけでなく、企画やイベントを行うためにかかった経費は支払わないといけなため、赤字です。 / 芸能活動は、場数を経験することで芸を磨くことができますが、表現の場が失われることで技芸の向上やモチベーションが奪われます。カルチャー講座も現在、ほぼ半分の生徒がコロナを気にして出席を控えているため、収入減となります。 / コロナウイルスが落ち着いても、公演自体がまた中止になるのでは、とイベント自体を企画してもらえなく、先の見通しもみえない。このまま経済が落ちていけばお稽古場に来ている方々の生活も心配。道場の休業も考えることになるのではないかと…。 / 生活のために定職をしているが、芸能活動がないと収入減となり、子育てにも厳しい状況 / イベントに出演したからといってギャラが貰える訳でもなければ出費がかさむだけなので、むしろ無い方が助かる / 演奏会のみならず、レッスンを忌避する方もいるので、その分も含めて収入が落ちる(た)。これを機に、辞めてしまう生徒もいるかもしれない。この状況はどうしようもないかなという気持ちもあり、演奏に対するモチベーションの低下や、今後への不安から暗澹たる気持ちになり、別の仕事を掛け持ちしながらやるべきなのか、活動を辞めてしまおうか、ネガティブな方向へ向かってしまう。ライブ配信を行っていて、なるほど、と思いつつも、ならば劇場に行かなくても良いという考えが増えるのか、反対に生を聴きたく(見たく)なる人が増えるのか、やっぱり不安なる。 / 芸能が無くても大丈夫だと世間に思われる事。 / イベント中止による減収の穴埋めができない状況で全体的な減収が避けられない。このまま公演自粛等が続くようなら廃業も考慮しなければならない。 / お稽古で重ねた時間は本番中止になったら、収入なしになります。 / 公演に向けて準備をしても中止になってしまっただけでは、その分の稽古の時間なども無駄になる。 / 公演に関わるエキストラ出演者の航空券代金やホテル代金を個人で立替えたが、公演のキャンセルに伴い、キャンセル料が無料になるものは所属団体に請求できないため、何十万という高額な代金をカード会社に返還されるまで数ヶ月待たないといけなくて、かなり厳しい。 / 年間の事業が計画通りに実施できなくなる。年度単位で成果目標を立てて取り組んでいるため、成果や検証を積み上げていくことが困難になる。また、助成金や補助金を活用した取り組みの場合、実施できなかった事業に対して返金請求がないかと不安になる。 / 会場使用料収入が減少することで法人全体の経営にも影響が出てくる。(貸し館業務も行っているため) / 家賃、年金、税金等の支払いが苦しくなる / 企画のキャンセルでギャラが受け取れない

Q 公演・イベントが延期や中止について、思うことがあればご自由にお書きください。 (n=202)

「延期や中止は仕方がないことだと思う」、「予防を徹底することで回避できないものか」、「フリーランスのセーフティネットが何かしら必要だと思う」といった意見がみられる。

(一部抜粋)

有料またはスポンサーが付いたインターネット配信などで公演活動を継続させる方法があればと思う。／仕方がないとは思う／ある程度は仕方がないが、あまりにも簡単に音楽が捨てられているように感じ、肩身が狭い。／今は仕方ない。でもこのまま晴れるのを待っていてもしょうがないので、これまでとは違うアプローチを練る努力もしなくてはいけないと思う。／感染が起これるかも知れないという事を考えると、致し方ないとは思いますが、早く終息する事を願うばかりです。／新型コロナウィルスの感染拡大抑止のためには中止、延期はやむを得ない。／延期や中止になる事は今の現状、皆の健康安全を考慮すると致し方ないと思うが、やはり厳しい状況なので、今後の不安です／この状況はやむを得ない。自粛するので、ライブハウスなどが潰れないように支援してほしい。ミュージシャンも生活のための一時金などがもらえるとありがたい。／現状で、中止や自粛はやむ終えないと思います。コロナを拡散させない事には全面協力したいので、安心して自粛出来るよう、全ての人に補償をしてほしいです。／今はこの状況なのでイベント延期や中止はやむおえないのですが、やはり公演が出来ない現実が生死に関わり不安でたまりません／ライブハウスなど、そこに来てこそそのストロングポイントを持って経営されている方の状況に心が痛いです。／出演側には保証が何も無い。それに向けて時間を割いてやっても出演側への配慮が無い。／この国では保証も無く名指しで自粛要請。まかり通るのでしょうか。改善してください。／イベントやライブの中止の判断は、私個人だけではやりづらい。予約をすでに入れてるお客様には、なんとか説明できても、お客様が入らないと経済的にたちゆかなくなる店側の状況を考えるとその判断が難しくなる／自粛要請だすなら、自粛する期間の保証はされるべきだと思います。／このご時勢で仕方がないのかもしれないが、芸術活動にはパトロンが絶対必要である、行政からも助成金は絶対的なものであると思う。／音楽は日進月歩なのでその歩みを止められるのはとても辛くて苦しくて…歯がゆいです！積み重ねた今がマックスなんです。途切れる事は「今を失う」んです。理解しても…納得は一生出来ない！！／現状では延期や中止は仕方ない／現状、不特定多数の人が集まる空間を作ってしまうのは個人的には反対です。ただ、こちらとしても生活基盤が崩壊してしまうのも確かなので、どうにか生きていける基盤となるスキルやノウハウがあれば、随時情報提供頂けると大変助かります。／野外のライブなどは今後早い段階で開催できないか、などイベントを開催してほしい。／延期、中止は、仕方がない事だと思う。お客様と関係者の全てが健康であり、笑顔で行えるからこそこのエンターテインメントだと思いますし、一刻も早くこの状況が回復する事を願うばかりです。／ライブハウス経営者です。早い救済措置を求めます。補助金支給は絶対に必要です。とにかく早い対応を！！／支援金やネット配信などにも助成金などが出たら助かる。／現実的にこれ以上広がらないためには自粛したいが、生活が本当にできなくなるため、細々と活動を続けている。音楽活動、文化活動に携わる方々に早急な生活費の支給を国は補助すべきだと思います。／自粛要請するなら補償もセットでは。国は「大規模イベント」と言っているが、小規模でも誹謗中傷等がある現状では、開催は出来ない。そんな国になぜ納税をしなければならないのか。／幸いにも私は収入面で大きな影響はありませんが、多くの芸能関係者は大変だと思います。企業、個人、行政が地域や文化に対するメセナとして出資・救済するときだと思う。／イベントで生計を立てて居る人も居るので国はもっと私達に寄り添って対応してほしいと思います。／正直、ライブハウスの維持は必要。演者の救済も必要。ただし、悪用されてもこまる。／日本、沖縄、そして自身やファンの皆様の家族の命を守るため、また医療現場で戦ってくださっている方々にこれ以上のご負担をかけないために、私の出来ることをやるしかないと思っています。／辛いだろうが、皆んなでのりきろう。／政治の側が市民の文化活動をどう位置付けているか、残念ですが今回の件でとてもよく分かりました。／自分一人の思いだけでは、出来ないのは承知している。いつまで自粛が続くのか？何を基準にすれば良いのか？が、知りたい。／イベント中止については、感染を防ぐための対策なので仕方がない事だとは思いますが、今後の活動について影響、またライブハウスさんのオーナーさんたち、経営者が生きづらくなると思うので回復を願うばかりです／制作会社も出演者もクライアントからオファーを頂いて時点で手付金(前金)をも

らい、公演終了後に残りの額をもらえる仕組みを作って欲しい。中止になって全額支払われなくなると、打ち合わせやリハーサルや準備などにかかった経費だけが支出されて厳しい。／安全や健康中心での対策なので仕方ないですが、「税金」を払っているのでこれが「特別措置保険」代わりに還元されてもおかしく無いと思います。／仕方ないと思います。ただそれでライブハウスやライブバーが潰れてしまうのは全く望んでないし、こうなったときに助けられる社会であってほしかった、と正直思いました。社会の中での音楽のあり方を考えるキッカケになりました。／この世の中、正直イベントの延期・中止をせざるを得ないのは致し方ないと思っています。ただ、兎角沖縄は特にイベント中止になっても押さえられていたスケジュールやそれらに対してもほぼ、保証が無いので、主催者はほんの気持ちでも良いのでそこまで気を回して欲しい。配慮して欲しいですね。／密閉空間に多数の人間がいることで、感染を拡げてしまう為中止は致し方ないとは思いますが、何らかの救援措置が取れないのか。政府はもちろん組織、団体での良い方法が見つければ…。／新型コロナウイルス感染拡大の現状では、イベントを開催しても観客が来ないと思うので、今は延期や中止は仕方ないと思う。／国や県が諸々のストレスを与えるだけでなく、みんな均等に最低限の生活ができるようにクリアにして欲しい／個人事業主は、保証もうすいと聞いたので、働かなくてはいけない。でも、今コンサートを行うことは、こちらもお客さんもどちらにもマイナスしかない。身動きが取れない状態です。／出演料などのギャラだけで食べている人たちはたいへんだと思います。早く日本もドイツ並みになりたいものです。／社会がライブハウスもアーティストも最大限にライブができる環境を整えていこうと努力していることを知ってほしい。仕事が止められても給料がもらえる方とその日の売上で生計を立てている方では全く感覚が違います。／パフォーマー側の自粛以前に、お客様自身が求めていなければ芸能・芸術活動は成り立たないと思う。延期や中止にならなくとも、お客様に足を運んでもらわなければ収入はない。この機会に、エンタメ業界は今までとは違った斬新な方法で集客(販売)ができないか機転を利かせるべきではないかと感じる。／仕方ない事で苦渋の決断だと思うし、出来るだけ自粛をした方がいいと思う。／仕方ないことだからと諦めてはられない。ここが、価値観を変えるポイントだと思っています。／人命にはかえられないので、今の状況での延期や中止はやむを得ないと思う。ただ、それによって仕事を失う人も多々いるはずなので、各自で生き延びる手段を必死に考える必要があると思う。／閉塞感から、アーティストのメンタルにも影響しています。助成やケアが必要と感じます。こういう実態調査は必要ですし、ありがたいです。1日も早い終息を願うばかりです。／ウイルスに関する事なので仕方ないけれど、文化が立ち消え無いうように補償していただければ、皆踏みとどまれると思うので是非検討していただきたいです。／無観客やオンライン会議など、その他の方法などの情報やテクニカルな問題に対する勉強会をしたい。／延期・中止もやむを得ないが、風評や差別などが広がらないように願う。／「自粛」しなければならぬ空気感が蔓延している。ここを乗り越えなくては、未来はない。基礎と自由、伝承と創出できる地力ある沖縄芸能界を構築できればと思います。／仕方ないことではあるが、入場者を間隔をあげ着席できるよう制限するなどして開催の余地はあると思う。それには会館借用費の軽減なども必須。／お客さんの安心安全が大前提なので自粛は仕方ないが、このままの状態が続くと存続出来なくなり業界全体も衰退していくと思う。／仕方ないことですが、このまま延期や中止が続くと人員削減や倒産、会社の規模縮小などが出てくるとされる。早く終息してほしい。／致し方ないこととはいえ、どうしたものかと途方に暮れている。／このようなご時世は、芸能・芸術から切り捨てられるのは仕方ないこと。だからこそ日頃から他の食いぶちを探さないといけない。しかし、芸能・芸術をしてみるとそのような時間もないのも現実。だから、ギャランティは何%から保証するのが当たり前な世になるといいな。と思います。／演奏をなりわいとしている音楽家の1人としてこのような状態が半年も続いてしまえば本当に深刻な死活問題だと危惧しています。／イベントなどの中止や延期は感染拡大を予防するためとはいえ、施設側への援助を県や国レベルで行い、芸能の活動の場自体の経営が続けられるような仕組みを特別に作って欲しい。個人は守れても箱物は大きな資金が必要だと思う。／国の保証を是非検討して欲しい。／収束の目処が立たないので、貸付ではなく給付金がなければ、早々に立ち行かなくなるでしょう。仕方ない事とは言え、「頑張りましょう」だけでご飯は食べられません。／公演・イベントの延期や中止は、大きな影響を受けてはいるが、他の業種も同様な問題を抱えており、複雑な心境である。／公演やイベントの中止によっておこる損害の補償を、できれば行政側でも考えてほしい。／県内のあらゆる業種に影響が出ていることを身をもって感じる。／出演者が受けとる予定のギャラや、中止になったホール使用代などは助成金などでまかなえるように保証があれば、もっと様々なイベントの主催者も決断をしやすいのではないかと思います。／現状では仕方ない状況ではありますが、政府や県には、判断基準は補償について明確に示していただけると判断や先の計画が立てやすくなります。／中止しなくてはならない基準を明確に示していただけたら、特に公共ホールでは閉館を決めてもらえたほうが、小さな劇団や教室を含む主催者の負担が減るのではないかと。／以前に震災後の公演で、かなりの借金を作りました。それよりは延期の方がよいと思って、

今回は延期を選択した、公演があります。まずは安心して舞台上に立てる環境が先だと思っています。芸能人であればこそ、こんな時の事もふまえてお金の勉強をして、余力を蓄えるような考え方も必要と思います。／換気、手洗い、うがいは必須。規模も小さいものならば開催してもいいのでは?と感ずる。密室でなければ。／確かに命が大事なので公演が止まるのはしょうがないですが、答えがない問題／今回ばかりは仕方ない。あとは動画制作なんかでYouTubeに発信したりとか出来ればいいかもしれない。／不平等があるので、延期や中止を要請するのであれば全ての団体が足並みを揃えられるよう強制にするべきだと思う。／貸館事業については、感染防止に努めるという点において、なぜ団体側に責任を負わせるのか疑問。国、県、市町村で責任を負いたくないのであれば全て休館の措置を取るべき。責任の押し付け合いを避けるためにも。／それぞれの会社の売り上げ低下の為に突然の中止となっても、国や自治体の取り決めによる影響は、何かしらの救済措置を希望します。／芸術芸能関係はテレワークにも限界があり、ネット配信は収入に繋がらないのが問題。何かしらの対策を芸術家全体で考える必要がある。／興行責任者への理解を深めてほしい。苦渋の決断と莫大な損失(お金)があることを。／新型コロナウイルスの終息の目処が立たないことから、予定されていた公演・イベントの延期や中止だけでなく、今後の新しい公演・イベントも考えられない状況だと思います。このようなときに何ができるのかと考えさせられますが、改善の策が見当たらない日々です。／週一のデイサービスでのおじいちゃんおばあちゃんと踊り、しばらくお休みで、寂しいです。1日でも早くの終息を願います。／予想以上の打撃です／この状況では、仕方ないのかもしれないけれど、キャンセル料が発生しても良いのではないかと思います。／現況仕方ないですが、国、県、市町村、金融機関の連携を取っていただき、低金利融資策を取って欲しいです。／ウイルスという目に見えないもの相手では太刀打ち出来ないかと思っています。このような状況が続けば舞台やイベント等は無くなってしまおうと思っています。／感染拡大は主催者や観客よりも政治に責任があります。的はずれな批判はあると思いますが自信をもって開催してほしいです。自治体などの主催のものは、収益目的ではないはずで、元の予算の中からある程度の補償をするべきです。／このような非常事態に、最初に影響を受けるのは、やはりエンタメ業界だと改めておもいました。どの業界も影響を受けていて、優先順位も何もないですが、どんな状況にあっても、社会の中でセーフティネットがあって安心して暮らせるような世の中になって欲しいとおもいます。／今回のことがきっかけで、音楽業界、舞台関係者の存在が社会で可視化され、いろいろな職種・働き方の多様性が認知される機会になれば、嬉しいなとおもいます。／安全のため自粛も大切 しかし、私のような活動で生活、研究をしていると非常に苦しいので、何か保護がほしい。せめて生活を支える保護が必要です／フリーで活動する芸術家も、公演で収入を得ているため、公演がなくなれば収入は減る。会社に勤める方々と同程度に保障してもらえなければ、家族を養えない人も多いと思う。／感染防止に注意公演を払って決行したとしても、プーイングが起こることも多い。感染者の増えていない地域では、寛解宣言のようなものをしてもらうと助かる。／実演家、舞台裏方スタッフなど収入に直結する方たちの補償をしっかり行ってほしい。／世界中が大変な事はわかっていますが、世界中でそれに対する援助ができてない。仕方ないとは分かっていますがその舞台を又、皆様に見てもらうまで頑張らないと想いますが、それまでの援助を考えて頂きたいと願います。／予防を徹底することで回避できないものかと。感染することもそうですが、自粛することで生きることの難しさは色々な面で不安、苦悩があります／公演やイベントが先延ばしになるのは最低限であって、最善の判断とは思えません。また、中止となるのは論外だと考えています。アーティストの存在が現代社会においてどんな役割があるのか、国、もしくは県として今だからこそしっかりと検討する必要があると思います。／沖縄でもコロナの患者は出ているがほとんどが県外からの人達なので、公演を中止や延期にしないで欲しいです／人命にはかえられないが、生活も出来ないので困る。このような職種は手当てがないことが多いので困る。／新型ウィルスの流行は急に終息することは現実的に難しいと思う。だが、芸術活動を生業にしている方々が多く存在するのもまた現実で、不測の事態が起きた時でも対応・救済できるような制度が早急に必要であると思う。貸付ではなく給付等。／YouTubeなどで無料の配信があるが、個人的には、無料で聴けるならと、今後、公演に来ていた方も有料公演に足を運ばなくなるのではと危惧している／琉球舞踊での公演に出演できないと出演料がでないのは、まだいいが、個人主催の独演会などが、中止となると、舞台使用料、キャンセル料など、負担がかなりかかる。収入はないが、舞台をこれから来年など、公演を計画できないし、半年後の開催予定の公演も心配です。／出演者、観客のことを考える延期や中止も仕方ないと十分に理解できるのですが、ずっとこのままでは困るなと感じます。／終息に向けて安全のためにも延期や中止が一時的なものなのは仕方ないが、海外のように国民一人当たり幾ら支給といった整備をして欲しい。／万全を期して、やる!と決めたイベントに関しては応援してほしい。延期と言われても決まった仕事もあり、関われないかもしれないので、最低限の保証をしてほしい。／コロナウイルスの感染拡大が全世界的に叫ばれる中、公演の中止や延期は仕方ない事ではある。しかし、これ以上続くのであれば、芸能を仕事にして

いる人間は間違いなく生活の維持はできない。別の仕事を持ちながら芸能をしている人はまだ良いが、芸能専門者はかなり切迫した状況である。観光客も大幅に減少する中、飲食業、サービス業のアルバイトも厳しくなっており、ますます生活の維持は厳しくなっている。芸能専門者を一時的に支える措置を切に願う。／ 野外での、イベントなら可能では？ ／ 延期や中止になっても報酬の何パーセントかは保証出来るような体制が今後は必要だと思った。／ これからも起こり得る状況なので、公演・イベント以外でお金を稼ぐ方法を考えている。自転車操業ではいけないと考えさせられた。／ 主催者の大変さを考えると胸が痛い。政府の要請で中止、延期による負債は政府で補償してほしい。／ 公演は劇場等、密室で開催されることが多いので仕方ないことではありますが、違う形での開催(ネット配信など)についても考える機会となりました。／ 公衆衛生の面からやむを得ないのだろうが、世間からは、舞台芸術もひとつの産業だという認識をしてもらえていないのだと失望している。／ 楽しみにしていたお客さんがいるので、外でテントを立ててでもやりたいと強く思っています。／ 今回の件で、演劇や伝統芸能で生計を立てている人は、それだけでは生きていけない事がはっきりとしました。今後は正規雇用の職に就き、芸能は趣味程度に楽しむという人が増えるかもしれません。そうなると、伝統芸能の質は益々落ちる事になると思います。／ 公共事業で芸能関係者を起用し事業実施をするように、このような状況では公共としてサポートできるようにしてほしい。生活の安定化について、双方(芸能実演家と行政)の連携を強化し、実現に向けて検討する。／ 仕方ないことだけれど、保険や助成が有ればなんとか赤字にならず延期ができる。／ 予想もしない最悪の事態はいつでも起こりうる。主催側が自分たちの生活を問題にするのではなく、常にお客様のベストを考えて中止や延期の判断をしてほしいと願います。死活問題となりやっつけられないのであれば、生きるためにシフトチェンジすることも大切。まずは、誰かに頼る前に自分に出来ることをやる。／ 沖縄県だけでも、アーティストに経済的に救済する仕組みがあれば、国が明るくなるモデル、先駆けになると思う。／ イベント規模、内容に関係無く中止延期は如何なものかな？ 行政の負担で、イベント会場にて消毒液、マスク、手袋の配布を望む。／ ある程度の基準を設けて、実施できる規模のイベントはできるような環境作りをしてほしい。それができないなら、国が少しでも補償してほしい、という気持ちです。今の風潮では、イベントする側が「悪」のような、そんな状況で私たちはどのように生活費を稼げばいいのか。会社員、公務員、とは違い、現場が無くなったら収入はゼロです。それに対して「自己責任でしょ」というネットの声を見て、この国の国民はそんなレベルなんだと寂しい気持ちになります。／ サーモグラフィーでの検査や、会場にご来場する際にはマスクの着用などを徹底しながら公演を少しずつでも開催してほしい。／ 主催者さんには多少の補償はしてもらいたいと思います。／ 今後、この劇場では何人まで、この条件が揃えば、等明確なイベントや公演開催可能な条件を上げて欲しい。／ この時期の判断に関しては、やむを得ないとは思いますが、ウイルスの脅威もあるが生活への脅威も感じる日々です。何か手立てが有ればいいですが、やはり国に頼るしかないのでしょうか。／ 芸能活動が止まる事を受け入れるのではなく、既にあるようにネット配信など、工夫をして音楽を届ける方法を探す努力も必要だと思います。／ 目に見えない脅威を前に、延期や中止を決定した主催者側の気持ちを考えると心が痛みます。日々刻々と状況が変わるなかで感じることは、感染者が出たときに、イベントを開催した主催者や感染者等を責める風潮があること。目に見えないウイルスに対してできる限りの対策をしている主催者がほとんどだと思います。国としてイベント開催判断基準となる具体的なガイドラインを示すなどして欲しいですし、イベント保険などに入ることができない中・小規模事業者も多いため、そのあたりの保証やサポートを提供して欲しい。／ 劇場やホールでの公演事業やイベントに関しては、WEBでの配信などで、中止せずに半額でも収入が入ることが可能ならよいのではないかと思います。／ 出演者側の立場ですと、金銭的理由で万全な対策を取れていない施設やイベントでの参加出演は不安です。だからと言って全ての公演を中止・延期とするのも負の連鎖ですし、開催するにしても出演する側が不安を理由に舞台に穴を空けるということは出来ません。主催者に開催可否の責任を委ねるのではなく、国や自治体が一定程度の基準を設け、ソフト面での支援もしていただく必要があると思います。／ イベント自粛は、しょうがないのは分かりますが、主催側や出演者、スタッフへの配慮が、普通の仕事よりも考えて貰えないことが、今の日本の芸能に対する考えなんだと思うと、伝統を守る人が居なくなると思います。／ 感染拡大抑止のためにイベント自粛をすることについて理解しているつもりだが、正直厳しいというのが本音。／ フリーランスのセーフネットワークが何かしら必要だと思いました。／ 感染症の拡大防止策は重要だが、それにより芸術文化活動の担い手の生活に影響が出ることを懸念している。文化の継承・発展、そして創造には、芸術文化を担う人々が安心して取り組める環境が不可欠である。公演・イベントを一律に延期や中止にするのではなく、工夫しながら実施できる方法を模索すると同時に損失が出る場合の補填の制度を整備するなどの対応が必要だと考える。／ 出演による報酬をメインの収入源とされていた方たちがこれを機に身を引いていくのではないかと懸念する。

アンケートへの回答、誠にありがとうございました。